

2.6 学位認定に関わる審査

2.6.1 学位認定審査

- 1) 修士論文及び修士作品の場合
- 2) 修士論文のみの場合
 - ・1) または2) のいずれかを選択してください。
 - ・修士作品とは、展示や上演の形式によって審査される作品、あるいは、研究に伴う制作物などをいいます。
 - ・修士論文のみの場合は、修士論文提出より前に研究内容に関して、学会等への投稿及び発表を推奨しています。
- 3) 主査1人、副査2人について
 - ・主査及び副査は本学教授・准教授・講師としてください。ただし、そのうち1名以上、教授または准教授を含めてください。
 - ・1年次、主査申請願を11月16日までに提出してください。(主査の署名必要)
 - ・主査を変更したい場合、最初に研究科長に相談してください。認められたら、主査変更願を提出してください。(研究科長・旧主査・新主査の署名必要)
 - ・副査について、副査申請願を、1年次3月(新M2強化月間)の個別面談期間終了後、4月8日までに提出してください。(主査・副査の署名必要)
 - ・副査を変更したい場合、主査・旧副査・新副査と相談してください。認められたら、副査変更願を提出してください。(主査・旧副査・新副査の署名必要)

2.6.2 修士研究構想特別面談

- ・3月1日から3月31日まで修士研究構想特別面談を実施します。
- ・修士研究の構想について相談します。
- ・この特別面談は単位とは関係ありません。任意です。しかし実施を強く推奨します。
- ・特別面談記録簿は4月8日までに事務局へ提出してください。

2.6.3 修士研究構想発表

- ・修士研究の構想を発表します。将来に何をしたいのか語った上で、修士研究では何をするのか、習作やプロトタイプを提示しながらその研究テーマを示し、今後の研究への足がかりとします。ここでのアドバイスを踏まえ、構想を再検討し、取り組みを進めます。
- ・「2.3.4研究シートについて」を参照して研究シートを作成してください。
- ・「2.3.5事前展示について」を参照して事前展示をしてください。
- ・事前展示では、研究シート、習作やプロトタイプ、研究に関するポスター、論文の概要、ポートフォリオなど、修士研究構想についてわかるものを、事前の展示期間に全員展示してください。
- ・口頭発表は、ホールAにおいて、プレゼン5分、質疑10分とし、3人の発表が終わったところで15分のディスカッションを設けます。ディスカッションではプレゼンの終わった3人と教員・学生で自由に意見交換してください。
- ・報告書：構想発表実施後すぐに1,000字程度の報告書をe-Learningへ提出してください。
- ・提出書類
 - 修士研究構想発表事前展示調査書(事務局へ)
 - 研究シート(e-Learningへ)

2.6.4 研究シート

- ・発表資料：研究シートをA4サイズ1ページで作成し事前に提出してください。
- ・研究シートの構成要素
 - タイトルとキャッチフレーズを付け、研究内容を一言で表現する。
 - キーワード(分野や要素など)
 - 概要や説明の文章あるいは箇条書き
 - 必要があれば図やスケッチ(外観あるいはシステム図、イメージ写真など)
 - リファレンス(論文、作品、技術など)

2.6.5 事前展示

- ・研究シートを展示場所に掲示してください。
- ・説明の必要な展示については、展示会場になるべく常駐するようにしてください。
- ・パフォーマンスや展示時間の限られる作品については体験時間を調査書に示してください。
- ・展示では、内容について議論せず、説明は体験・技術説明のみとします。(議論は発表時にしてください。)
- ・論文のみの場合も事前展示は必須です。論文の草稿や関連資料などを展示してください。

2.6.6 修士研究中間発表

- ・研究の背景となる思想など説明し、研究の目的を示し、研究内容の具体像を発表してください。
- 修士作品および修士論文の場合、ある程度の完成度がある試作を展示してください。習作やプロトタイプ、あるいはこれから作るものについて詳しく説明してください。また、スケジュールなどの研究計画も示してください。
- 修士論文のみの場合は、第一稿を提出してください。
- 修士作品および修士論文の場合、修士論文のみの場合のいずれも、ある程度の完成度を求めます。

- ・発表資料は修士研究構想発表で提出した研究シートに、研究計画や補足資料などA4サイズ5ページ以内で追加してください。
- ・研究シートについては「2.3.4研究シートについて」を参照してください。
- ・事前展示では、習作やプロトタイプ、研究に関するポスター、論文の概要、ポートフォリオなど、修士研究についてわかるものを、事前の展示期間に、全員展示してください。

- ・事前展示については「2.3.5事前展示について」を参照してください。
- ・口頭発表は、ホールAにおいて、プレゼン10分、質疑5分とし、3人の発表が終わったところで15分のディスカッションを設けます。ディスカッションではプレゼンの終わった3人と教員学生で自由に意見交換してください。
- ・提出書類
 - 修士研究中間発表事前展示調査書(事務局へ)
 - 研究シート(e-Learningへ)
 - 過去の研究シート(e-Learningへ)
 - 追加資料(e-Learning)

2.6.7 学位認定審査願

- ・題目を最終的に決定してください。
- ・あわせて論文の「目次」も提出してください。
- ・提出以後、主査・副査の変更はできません。

2.6.8 修士作品審査

- ・修士作品および修士論文の場合、作品の概要発表のみでなく、論文内容も含め作品・研究についての審査をします。また、2週間程前に実施される事前展示では、修士作品として完成した作品を展示してください。修士論文のみの場合、予備審査を行います。論文を審査員(主査・副査)に提出するとともに、プレゼンテーションと質疑を行います。11月1日までにPDF形式でファイルをe-Learningへ提出してください。
- ・修士作品審査(論文予備審査)に合格しないと、学位審査に進めません。
- ・主査の指定する時間にプレゼンテーション及び質疑を行います。
- ・発表方法:ホールAにおいて、修士作品および修士論文の場合、プレゼン10分、質疑10分とします。修士論文のみの場合、プレゼン15分、質疑10分とします。
- ・発表資料(修士作品および修士論文の場合):
 - 最新の研究シート(必要に応じて構想発表と中間発表の研究シート)を提示してください。また「アブストラクト」「論文目次」(各々A4サイズ1ページ程度)とします。
- ・事前展示については「2.3.5事前展示について」を参照してください。
- ・提出書類
 - 修士作品審査調査書(修士作品および修士論文の場合)(事務局へ)
 - 制作研究作業場所届(該当者のみ、事務局へ)
 - 研究シート(e-Learningへ)
 - 過去の研究シート(任意、e-Learningへ)
 - アブストラクト、論文目次(e-Learningへ)
- ・修士作品審査の審査基準は次のとおりです。
 - ◇コンセプト:メディア表現学にふさわしい課題を設定し、社会に対して明確なコンセプトを提示しているか
 - ◇表現力:独創的または普遍的な表現領域の可能性を探究し、思考の成果が具体化されているか
 - ◇技術力:適切に応用力のある制作技術を用い、十分な完成度に達しているか

2.6.9 修士論文の提出

- ・提出物
 - 学位申請書(事務局へ)
 - 印刷された論文(1部)
 - 修士論文の公開に関する確認書(事務局へ)
- ・e-Learningへのアップロード:
 - 論文PDF(アブストラクト含む)
 - 必要があれば資料データ
- ・任意提出物
 - 必要に応じ参考資料(各種メディア各1部)

※論文1部、参考資料1部を本学図書館に保存、またe-Learning上のデータも保存

※e-Learningへのアップロードデータの総容量は1GBまでです。PDF作成時に注意してください。

※図書館での公開、あるいはアップロードされたデータが公に参照可能になると、記載された内容は公知の事実となり、特許権等の知的財産権の主張ができなくなると考えられます。権利の保有を希望する場合は、アップロード前に担当教員に相談してください。

○修士論文の形式

- ・A4用紙1ページ1,000字程度、英語の場合500word程度の字詰とします。
- ・各ページに、ノンブル(ページ番号)を記載してください。レイアウトは自由です。
- ・日本語と英語のアブストラクトをそれぞれ1ページ添付してください。共通フォーマットがありますので、それに従い作成してください。(日本語1,000字程度、英語500word程度)
- ・図表には必ず図表番号を付けてください。
- ・「修士論文のみ」の場合は、50ページ程度を目安としてください。(日本語50,000字程度、英語25,000word程度)
- ・修士論文及び修士作品の場合は、25ページ程度を目安としてください。(日本語25,000字程度、英語12,500word程度)
- ・共同制作、共同研究の場合でも、それぞれ個別に修士論文を執筆し提出してください。また、制作過程(プロセス)を明らかにし、それぞれの役割分担の内容を、参考資料あるいは本文中に記載してください。制作物や成果は同一でも構いません。
- ・プログラムコードや多量の図表などは、本文に含めず、参考資料として添付してください。

○修士論文の内容例

- 1 背景、問題点など。
- 2 目的、コンセプト、新規性など。
- 3 過程、方法、手順など。
- 4 調査、分析、実験、制作など。
- 5 結果、成果など。
- 6 考察、評価、展開など。

2.6.10 最終試験(修士論文発表)

- ・学内公開とします。
- ・発表15分、質疑応答 10分。(論文のみの場合は、発表20分、質疑応答10分。)
- ・主査が司会進行し、審査員(主査、副査)が質問します。審査員以外の人の質問は、審査員の質問後とします。
- ・最終試験後に主査より指示があった場合は論文を修正してください。修正した場合、それが可否の判定論文となります。

2.6.11 判定会議

- ・主査、副査は修士論文等を審査し、その結果に基づき、合格又は不合格を判定します。
- ・主査、副査が必要と認める人に対して、修士論文等の試問を行います。
- ・もし試問がある場合、実施日時は主査の指示に従ってください。
- ・修士論文等の審査基準は次のとおりです。
 - ◇目的: アート、デザイン、工学の観点から研究の意義および必要性が明確に述べられているか
 - ◇手法: 倫理性と社会における責任を鑑み、研究課題にふさわしい研究方法および分析が用いられているか
 - ◇論旨: 先行作品／事例研究を理解したうえで、当該分野の研究動向の中に課題・成果を位置づけているか
 - ◇論理: 研究課題の設定、分析、結果、考察の過程において、論理展開が一貫しているか
 - ◇結論: 結論に他分野との交流から生み出された独自性や学術的意義があり、社会的要請にも応える可能性があるか

◇日程

4/5(火)			2年オリエンテーション
5/24(火)	—	25(水)	修士研究構想発表事前展示
5/26(木)	—	27(金)	修士研究構想発表
5/30(月)	—	6/29(水)	2年特別面談期間
9/12(月)	—	13(火)	修士研究中間発表事前展示
9/14(水)	—	15(木)	修士研究中間発表
9/16(金)	—	10/12(水)	2年特別面談期間
10/18(火)			修士作品審査調査書提出期限
10/18(火)			学位認定審査願提出期限
10/31(月)	—	11/1(火)	修士作品審査事前展示
11/14(月)	—	15(火)	修士作品審査
1/10(火)			修士論文題名変更願提出期限
1/16(月)			修士論文・学位申請書提出期限
1/17(火)	—	1/27(金)	修士論文試問期間
1/30(月)	—	1/31(月)	最終試験(修士論文発表)
2/8(水)			修正修士論文提出(修正がある場合)